

隊員の皆さんに聞きました!!

きっかけは 東日本大震災でした

小学校1年生でしたが、消防隊員が被災者を救助する姿を見て、自分もなりたいと強く思いました

24時間勤務中 は緊張の連続です

チームワークも自分の意見も大切です。常に意見を出し合ってより良い方向を目指しています

誰よりも早く出勤する それが自分の“こだわり”です

資機材のチェックをしたり、靴を磨いたりして、勤務の準備を行っています

搬送した方や ご家族のほっとした 笑顔にやりがいを感じます

ケースに応じた適切な見極めが必要であり、冷静な対応を心がけています

救急救命士として、 様々な症例や経験の 情報交換ができる研修に 積極的に参加しています

最適な受入れ先を見つけるための判断には、日々の勉強が欠かせません

休みの日も 建物を見ながら救助の イメージトレーニングを しています

職業病かもしれませんが、どんな救助方法が最善であるかを、いつも考えています

議員の視点

消防車両を更新するため、行田市消防署に直接話を伺う機会を得ました。

取材中も救急出動を告げる放送が流れるたびに、ゲンバは緊張感に包まれます。

車両は日々さまざまな点検を欠かさず、まさに、いつでも出動できるよう丁寧な準備がなされていました。

そして、これらを整備、いざ現場で操る人＝署員みなさんも日々、自身の体力づくりと厳しい訓練に勤しみ、行田市民の命と財産を守りたいという使命感を胸に活躍されている姿を目の当たりにし、尊敬という言葉とともに、心強さを覚えました。